



こどもDoまんなか
さいとう
武次郎

タケの子かわら版

市政報告

12月補正予算一般会計は8.2億円



2026年4月に下津井地区に義務教育学校開校へ

12月議会が12月4日から12月22日まで開催されました。

12月補正予算は、一般会計で8億1,791万円で、累計では2,166億4,664万円(対前年度比101.2%)になります。全会計では、累計4,432億4,810万円(対前年度比101.3%)になります。

【主な予算】

義務教育学校施設整備事業費 2,055万円

2026年4月開校予定で、9年制の義務教育学校の設置に向けて、下津井中学校の改修を実施。

下津井東小学校、下津井西小学校、下津井中学校を統合。



子育て世代包括支援センター運営事業費 45万円

倉敷市公式アプリ(2023.12.15~使用可能)と連係して市からの子育て情報等をプッシュ型で提供できる電子母子手帳アプリを導入。2024年3月使用スタート予定。



【iOS用QRコード】

倉敷市公式アプリが12/15~利用開始

あなたの生活をもっと便利に。

倉敷市公式アプリ

2023年12月15日(金)からスタート!

暮らしに役立つ情報やイベント情報を簡単に入手できるスマートフォンアプリができました。ぜひご利用ください!



【Android用QRコード】



特殊詐欺等被害防止対策事業費 42万円

迷惑電話防止機能を備えた電話機等の購入費に対する補助金の追加(50台分→110台分)。

65歳以上の世帯が対象。補助率1/2 補助上限7000円



災害応急対策事業費 920万円

大雨時の緊急対策として、従来のレンタル方式を改め、全市的に使用する仮設排水ポンプ7台を阿津防災倉庫に配備。



武次郎のYouTubeライブ配信 義務教育学校開校へ

1月25日(木) 21時~ 12月議会報告

LINE何でも相談室はじめました!

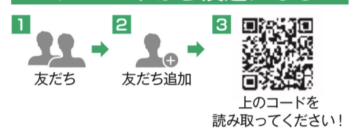


倉敷市政の情報も
知らせします



議員に会わなくても、電話もしなくても、あなたの好きな時間・好きな場所で相談できます。

QRコードから友達になる



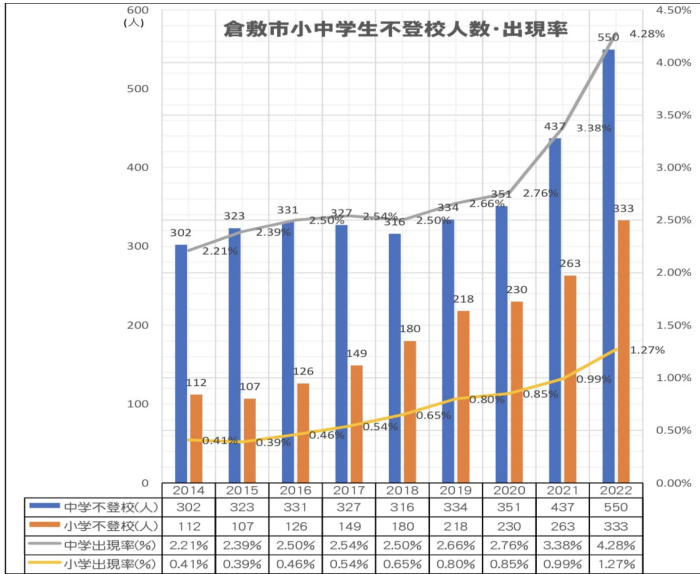
ID検索から友達になる



@takejiro と検索してください!

2022年度 倉敷市の不登校が883人で過去最多

7年間で不登校が倍増するも、受け皿のふれあい教室の定員は増えず



文部科学省は2022年度の小中学生の不登校が299,048人で、2021年度から22.1%(54,108人)増え、過去最多を更新したと発表しました。出現率は小学生が1.70%、中学生が5.98%。

倉敷市も年々増加し、2022年度は過去最高の883人(2021年度は700人、26.1%増)でした。

小学生が333人(2021年度は263人、26.6%増)で、不登校出現率1.27%(2021年度は0.99%)。中学生が550人(2021年度は437人、25.9%増)で、不登校出現率4.28%(2021年度は3.38%)。

倉敷市の不登校はここ7年間で、2倍以上増加しています。

えっ? 放課後ディサービス 利用制限は倉敷市が最も厳しい

障がい児が利用できる放課後等ディサービス(療育)の利用日数等は自治体によって異なります。

岡山県内では、倉敷市が利用制限が最も厳しいのです。月に5日以内で県内で最も少なく、複数の事業所の利用は不可、学校の通級指導教室との併用も不可です。

複数の事業所が利用できないということは、1人の子どもの複数の障がいがある場合は、どちらか1つの障がいにはしか療育を受けることができないこととなります。2つの障がいを持つ子どもの保護者は、どちらの障がいの療育を優先するかを決断しなければなりません。そんなことができますか? **このように厳しい利用制限を行う合理的な理由があるのでしょうか?**

しかし、不登校児童生徒が通う倉敷ふれあい教室(適応指導教室)は、市内に倉敷教室、水島教室、児島教室、玉島教室、真備教室の5か所に設置されていますが、その定員は増えていません。「ふれあい教室に入りたいと申し込んだけれど、定員いっぱいに入れないと断られた」という相談をいただくこともあります。

不登校が急増する中、ふれあい教室の増加や定員増は急務だと思います。

同時に不登校の受け皿はふれあい教室だけでなく、各学校に整備されている別室登校の充実、やオンライン授業の実施、民間フリースクールとの関係も必要だと思います。

不登校対策には選択肢を増やすことが重要です。更なる充実に務めます。

倉敷フリースクール

**合同入所説明会
& 不登校相談会**

参加スクール **8** 校(予定)

2024 2/17 土

ライフパーク倉敷 1階 視聴覚ホール

参加費 無料 当日参加 OK 相談コーナー

県内初? フリースクール合同入所説明会を開催

放課後等ディサービスについて実施状況

市区町村	学校の通級指導教室との併用	複数の事業所利用	月に利用可能上限日数(原則)
岡山市	できる	できる	13日
倉敷市	できない	できない	5日
津山市	できる	できる	23日
玉野市	できる	できる	10日
笠岡市	できる	できる	8日
井原市	できる	できる	23日
総社市	原則不可、本人の発達に有効な場合には例外的に可能	原則不可、医療ケア児、重症心身障害児は可能	5日
高梁市	できる	原則不可、必要が認められる場合にのみ可能	23日
新見市	できる	できる	23日
備前市	できる	できる	利用者の状況により判断
瀬戸内市	できる	できる	23日
赤磐市	できる	できる	13日
真庭市	できる	できる	23日
美作市	できる	できる	23日
浅口市	できる	できる	10日
和気町	できる	できる	13日
早島町	できる	できる	10日
里庄町	できる	できる	23日
矢掛町	できる	できない	15日
新庄村	該当者なし	該当者なし	該当者なし
鏡野町	できない	できる	23日
勝央町	できる	できる	23日
奈義町	できる	できる	23日
西粟倉村	できない	できない	利用者の状況により判断
久米南町	できる	できる	23日
美咲町	できる	できる	利用者の状況により判断
吉備中央町	できる	できる	23日

不登校についてのご意見をお聞かせください

義務教育学校って何？ 9年制の小中一貫教育のつ

2026年4月に下津井地区に倉敷市初の義務教育学校が開校される計画が発表されました。

では、義務教育学校ってどんな学校なのでしょう？

9年間の義務教育を一貫して行うことを小中一貫教育と言います。

1人の校長のもとで、1つの教員集団が一貫して教育課程を編成・実施する9年生の学校で教育を行う形態を義務教育学校と言います。

組織上独立した小学校及び中学校が義務教育学校に準ずる形で一貫した教育を施す形態を小中一貫型小学校・中学校と言います。

義務教育学校と小中一貫校の大きな違いは、小学校・中学校の間に区切りが「ある」か「ない」かです。よって、義務教育学校には、小学校の卒業式はありません。

義務教育学校では、1年生から9年生までの児童生徒が1つの学校に通うという特性を生かし、9年間の教育課程において「4-3-2」や「5-4」などの柔軟な学年段階の区切りを設定できます。

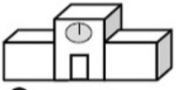
教員は原則として、小学校・中学校両方の免許を所有しています。

小学校と中学校間の段差を緩和することで、「中1ギャップ」の緩和や解消する効果が期待されます。

①義務教育学校

・新たな学校種(一つの学校)
⇒一人の校長、一つの教職員組織

修業年限: 9年
(前期課程6年+後期課程3年)



校長(1人)

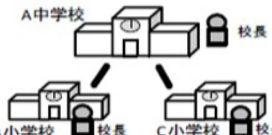
今回の義務教育学校設置は「倉敷市立小中学校の適正規模・適正配置に関する基本方針」に基づく、小規模校解消のための統合です。

統合すれば、現在の下津井東小学校の複式学級は解消される見込みです。

小中一貫型小学校・中学校

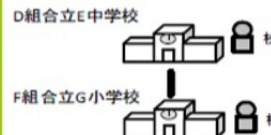
・組織上独立した小学校及び中学校が一貫した教育を施す形態
⇒それぞれの学校に校長、教職員組織

②併設型小学校・中学校
(同一の設置者)



※一貫教育にふさわしい運営体制の整備が要件
例・総合調整を担う校長を定める
・学校運営協議会の合同設置
・校長等を兼任

③連携型小学校・中学校
(異なる設置者)



※併設型小・中学校を参考に適切な運営体制を整備すること

令和5年度倉敷市立小中学校の学校規模

小学校				中学校			
校数	学級数	校数	学級数	校数	学級数	校数	学級数
西阿知	1	36	0				
	0	35	0				
	0	34	0				
茶屋町	1	33	0				
大高	1	32	0				
中島	1	31	1	南			
	0	30	0				
	0	29	0				
連島南	1	28	0				
万寿	老松	2	27	1	西		
	庄	1	26	0			
長尾	1	25	0				
第二福田	中庄	2	24	1	倉敷第一		
		0	23	1	東陽		
		0	23	1	新田		
		0	21	1	玉島北		
第一福田	倉敷南	葦高	3	20	0		
帯江	万寿東	2	19	2	東	北	
第四福田	1	18	2	多津美	福田		
児島	天城	2	17	0			
		1	16	1	福田南		
富田	玉島	粒江	3	15	1	玉島東	
			2	14	1	連島	
琴浦西	赤崎	2	13	3	庄	連島南	琴浦
川辺	倉敷東	2	11	0			
前田	味野	2	10	0			
柏島	琴浦東	連島西	第三福田	4	9	0	
				1	8	0	
				4	7	0	
島	岡田	琴浦南	第五福田	4	7	0	
下津井西	連島北	水島	7	6	4	水島	郷内
				2	5	0	
				1	4	0	
				1	3	2	下津井
				1	2	0	黒崎
				0	1	0	
				61	計	26	

※学級数は特別支援学級を除く。

通学路改善を求めて要望活動

通学路改善に向けて要望活動を続けています。警察、市役所職員と一緒に現地調査を行いました。現場でしっかり危険な状況を訴えました。



通学路改善箇所を現地調査する武次郎

安全パトロール推進員を巡回

二福小学校区の安全パトロール推進員を巡回訪問しました。



警察・市・PTA合同の安全パトロール推進員巡回

毎年恒例行事で、水島警察署、水島支所、小学校、PTAの合同で行っています。



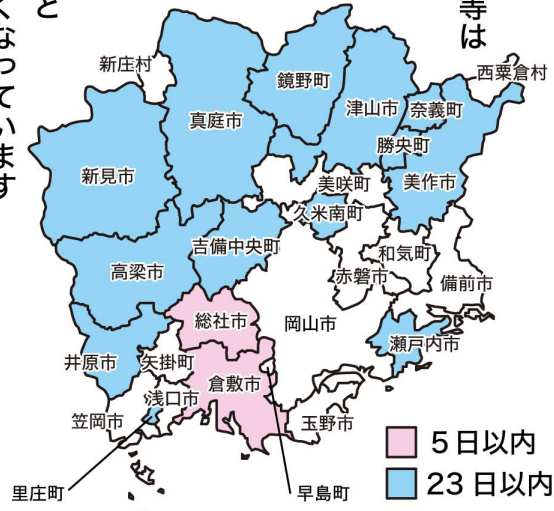
武次郎のSNS

武次郎HP

義務教育学校についてのご意見をお聞かせください

より良い療育のため、支援サービスの利用制限を改善したい！

このサービスを
利用できる日数等は
自治体によって
違うのですが
最も多い
津山市などが
月に23日以内
なのに比べて
倉敷市では
わずか5日以内と
県内で最も少なくなっています



障がいを持つ子どもが
社会的に自立して
生活できるよう
それぞれの状態に
応じた支援を行って
発達を促すことを
「療育」と言いますが



※主に6～18歳の障がいのある
子どもが利用できる通所支援児サービス

これらの
厳しい利用制限に対して
市外から引っ越して来た
障がい児の保護者の方は
とてもショックを受ける
そうです

たった5日じゃ
十分な療育なんて
できない！

うちの子は
複数の障がいがあるのに
1つの障がいの療育しか
できないの!?

また、倉敷市では
複数の放課後等
デイサービス事業所を
利用できなかったり
学校の
通級指導教室と
併用することも
できません

療育は
日々の積み重ねが
大切です

十分な
療育が受けられるように
倉敷市ではもっともっと
利用制限の緩和が必要
です

私は
障がいを持つ子どもと
保護者の未来のためにも
しっかり訴え
取り組んでまいります！